

# そよかぜ

題字 小野倉藏

なかへ学院  
中部少年学院後援会

〒750-0081  
山口県下関市彦島角倉町  
3丁目6番17号

TEL (083)266-1934

発行 広報部

印刷

(株) ナカハラプリンテックス  
TEL (083)266-4601



左：隣地から建物を見る  
右：鳥瞰パース  
※画像はイメージです。



中部少年学院理事長 石川 啓

## 乳児院が新しくなります

乳児院なかへ学院は、昭和26年に初代理事長小野倉藏が焦土と化した戦後の社会で、家を失い肉親と離別し路頭に迷う母子を見かねて乳児預かり所を開設したことに始まります。当時の施設は、養護施設の一部を板塀で仕切って、隙間風を防ぐために毛布を張りめぐらしたものでした。それでも、職員たちは「這えば立て、立てば歩め、歩めば語れ。」という一日一日の児童の成長を願って懸命な養育努力を続けてきました。

昭和28年には、乳児院(定員15名)としての認可を受け、昭和42年に新院舎(定員35名)を建設し、同時に県立宇部乳児院と合併して山口県内唯一の乳児院として発足しました。昭和45年には、都市への人口集中による家族形態の変化という社会現象が、家庭での養育力の低下を招いたこと等の理由により、定員を48名に増加し、昭和52年に施設を増築して今日に至っています。この間、終始一貫して家庭環境に恵まれない入所児の健やかな成長を願って、その養育に全力を尽くして参りました。

しかし、歳月の経過とともに施設の建物の老朽化が進み、その上、耐震化の不備などの原因で入所児の安心・安全を確保することが困難となり新院舎の建設が課題となりました。さらに、現院舎は狭隘な傾斜地に建てられた高層の建物です。そのため、国の求める少人数で家庭的な養育を実践する施設を建設するためには、新たに敷地を求めることも課題となりました。

これらの状況を踏まえて、幾度か検討を重ねた結果、このたび山口県や下関市のご協力をいただき、下関市古屋町に所在する山口県立山口南総合支援学校下関分校跡地に移転し新築することになりました。新院舎は、一部二階建ての木造平家造り(定員30名)で、少人数家庭的養育を実践するためのユニット方式を採用しています。木の香のやさしい、温かい雰囲気の新施設となることを期待しています。

新院舎の建設に伴い、乳児院なかへ学院は、併設することも家庭支援センター「紙風船」と共に、下関市における子育て支援の中核的な役割を果たしていくことを願っています。

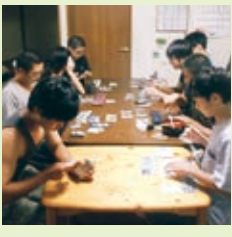
### 児童養護施設

#### 花ホーム

今年度の花ホームは新たに未就園児・高校生が加わり児童十名で生活しています。幼稚園児も年長となり学院や幼稚園でお姉さんぶりを発揮し下児童のお世話をしてくれています。他児も学年進級し少しずつ成長を見せてくれます。

今年の夏休みは、例年になく台風が次から次へとやって来て色々な夏行事外出の計画が流れてしまいました。しかし、楽しみにしている児童の為に台風をよそなえて室内でしっかりと遊べるように配慮しました。カラオケや水族館散策・買い物等に掛け合わせることが出来ました。特にカラオケはマイクを持った距離感：なんて事もあったり、楽しかったです。

一時保護入所やレスパイトケア等の受け入れ入れその都度、人数変動があり賑やかな毎日を過ごしています。いろいろなハフニングも有りますが、職員が関わりながら試行錯誤して行く(日々)の頃です。



今年度の夏休みは天候に恵まれず、なかなか夏行事を楽しむことが出来ませんでした。参加できたキャンプや川遊びでは夏を満喫することが出来ました。

地域の行事や、学院盆踊りなどでは、手伝いにも参加し、若さを活かして活躍を見せてくれました。最初は嫌々言いつつ横断歩道を渡る子も達も少しずつ積極的に手伝つてくれるようになり、成長を感じる事が出来ました。また、中学三年生は部活動を引退した児童もおり、三年間の頑張りを認めるとともに、高校受験に向けて勉強に励むよう声をかけています。オンラインキャンプにも参加し、目標に向かって頑張りたいと思います。

今年度の夏休みは、例年になく台風が次から次へとやって来て色々な夏行事外出の計画が流れてしまいました。しかし、楽しみにしている児童の為に台風をよそなえて室内でしっかりと遊べるように配慮しました。カラオケや水族館散策・買い物等に掛け合わせることが出来ました。特にカラオケはマイクを持った距離感：なんて事もあったり、楽しかったです。



今年度の夏休みは、例年になく台風が次から次へとやって来て色々な夏行事外出の計画が流れてしまいました。しかし、楽しみにしている児童の為に台風をよそなえて室内でしっかりと遊べるように配慮しました。

#### 月ホーム

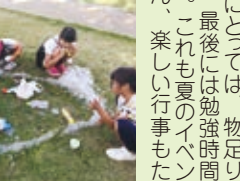
今年度の月ホームも小学生と中学生が中心となったホームです。人数は多いですが、それぞれがマイペース。「みんなで一緒に」というよりは「私がやりたい事」を楽しむ自分の世界を広げていく所です。新学期となる環境ががらりと変わった子達もいます。学校では自分のペースが通らないので四苦八苦している所もありませんが、それもまた大切な事！寄り添いながら見守っている所です。

今年度の夏休みは、例年になく台風が次から次へとやって来て色々な夏行事外出の計画が流れてしまいました。しかし、楽しみにしている児童の為に台風をよそなえて室内でしっかりと遊べるように配慮しました。カラオケや水族館散策・買い物等に掛け合わせることが出来ました。特にカラオケはマイクを持った距離感：なんて事もあったり、楽しかったです。



今年度の夏休みは、例年になく台風が次から次へとやって来て色々な夏行事外出の計画が流れてしまいました。しかし、楽しみにしている児童の為に台風をよそなえて室内でしっかりと遊べるように配慮しました。

今年度の夏休みは、例年になく台風が次から次へとやって来て色々な夏行事外出の計画が流れてしまいました。しかし、楽しみにしている児童の為に台風をよそなえて室内でしっかりと遊べるように配慮しました。カラオケや水族館散策・買い物等に掛け合わせることが出来ました。特にカラオケはマイクを持った距離感：なんて事もあったり、楽しかったです。



今年度の夏休みは、例年になく台風が次から次へとやって来て色々な夏行事外出の計画が流れてしまいました。しかし、楽しみにしている児童の為に台風をよそなえて室内でしっかりと遊べるように配慮しました。

#### 風ホーム

今年度の夏休みは、例年になく台風が次から次へとやって来て色々な夏行事外出の計画が流れてしまいました。しかし、楽しみにしている児童の為に台風をよそなえて室内でしっかりと遊べるように配慮しました。カラオケや水族館散策・買い物等に掛け合わせることが出来ました。特にカラオケはマイクを持った距離感：なんて事もあったり、楽しかったです。

今年度の夏休みは、例年になく台風が次から次へとやって来て色々な夏行事外出の計画が流れてしまいました。しかし、楽しみにしている児童の為に台風をよそなえて室内でしっかりと遊べるように配慮しました。カラオケや水族館散策・買い物等に掛け合わせることが出来ました。特にカラオケはマイクを持った距離感：なんて事もあったり、楽しかったです。

今年度の夏休みは、例年になく台風が次から次へとやって来て色々な夏行事外出の計画が流れてしまいました。しかし、楽しみにしている児童の為に台風をよそなえて室内でしっかりと遊べるように配慮しました。カラオケや水族館散策・買い物等に掛け合わせることが出来ました。特にカラオケはマイクを持った距離感：なんて事もあったり、楽しかったです。

今年度の夏休みは、例年になく台風が次から次へとやって来て色々な夏行事外出の計画が流れてしまいました。しかし、楽しみにしている児童の為に台風をよそなえて室内でしっかりと遊べるように配慮しました。カラオケや水族館散策・買い物等に掛け合わせることが出来ました。特にカラオケはマイクを持った距離感：なんて事もあったり、楽しかったです。



今年度の夏休みは、例年になく台風が次から次へとやって来て色々な夏行事外出の計画が流れてしまいました。しかし、楽しみにしている児童の為に台風をよそなえて室内でしっかりと遊べるように配慮しました。

### 乳児院

毎年、夏になるとプール遊びや盆踊りなど夏ならではの遊びや行事に参加します。その中でも楽しみの一つでもある「馬関まつり」に参加しました。子どもたちは、たくさんのお店を見て、ヨーヨー釣りの楽しさや、かき氷なども喜び祭りの雰囲気を楽しみました。これからは、たくさん行事に参加し子どもたちの笑顔を大切に二日を過ごしたいと思っています。



今年度の夏休みは、例年になく台風が次から次へとやって来て色々な夏行事外出の計画が流れてしまいました。しかし、楽しみにしている児童の為に台風をよそなえて室内でしっかりと遊べるように配慮しました。

今年度の夏休みは、例年になく台風が次から次へとやって来て色々な夏行事外出の計画が流れてしまいました。しかし、楽しみにしている児童の為に台風をよそなえて室内でしっかりと遊べるように配慮しました。カラオケや水族館散策・買い物等に掛け合わせることが出来ました。特にカラオケはマイクを持った距離感：なんて事もあったり、楽しかったです。

小学生の女の子から「平成最後の夏なのに海にも川にも行けず残念な夏だった」と言われました。それでも真っ黒になった顔や体を見て、今年の夏も遊んだなと、夏の終わりを寂しく思っています。今年度も残り半分。楽しかった事も、嗚呼して泣いてしまった事もたくさん思い出していきたいです。



今年度の夏休みは、例年になく台風が次から次へとやって来て色々な夏行事外出の計画が流れてしまいました。しかし、楽しみにしている児童の為に台風をよそなえて室内でしっかりと遊べるように配慮しました。

### そよ風

#### 夏の活動

今年の夏の猛暑は格別で、屋外での遊びの場を制限されてきました。そよ風では子供たちに水遊び、スヌーズレン、料理などの活動を考え取り組んできました。水遊びでは、大プールを新たに準備しました。ゆつたりと体ごと浸かり、水浴びや顔つけも平気でできる子が何人も見られるようになりました。スヌーズレンは「じねんじょ」にある部屋では、様々な光の色を放つ柱や、心静める音楽が流れる癒しの効果を得られる部屋です。重い障害の子も緊張を和らげ穏やかに過ごせます。

今年度の夏休みは、例年になく台風が次から次へとやって来て色々な夏行事外出の計画が流れてしまいました。しかし、楽しみにしている児童の為に台風をよそなえて室内でしっかりと遊べるように配慮しました。カラオケや水族館散策・買い物等に掛け合わせることが出来ました。特にカラオケはマイクを持った距離感：なんて事もあったり、楽しかったです。



今年度の夏休みは、例年になく台風が次から次へとやって来て色々な夏行事外出の計画が流れてしまいました。しかし、楽しみにしている児童の為に台風をよそなえて室内でしっかりと遊べるように配慮しました。

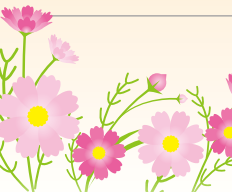
#### 【寄附寄贈】

平成30年4月～平成30年9月  
たくさんの方のご支援に心から感謝申し上げます

(順不同 敬称略)

- ◎団体
- ・アトリエ心
- ・青年神職会
- ・常閑寺
- ・赤間神宮
- ・マルコニチロ下関工場
- ・NPO法人NGOフク
- 21ふらっとホーム
- ・セニイレブソ福浦口店
- ・カンティナラガツツア
- ・Wホールディングス
- ・国広モーターズ
- ・山口整形外科
- ・(株)寿工務店
- ・リビングサービス
- ・彦島八幡宮
- ・特急はんや
- ・(有)魚工房 鮮福
- ・(株)ケーブルネット下関
- ・夢現の会
- ・ホワイトキャッツ
- ・広電工業(有)
- ・(株)ものばんく
- ・国際ソロプラチニスト東下関
- ・匿名
- ・掲載可未確認3団体

- ◎個人
- ・西村 一男
- ・東海林拓也
- ・中村 精治
- ・門司 一徹
- ・白石 家門
- ・中川 文男
- ・中尾 清
- ・中村杜次郎
- ・塩屋 康子
- ・豊田静里香
- ・田中 直子
- ・廣井 佳子
- ・大井 珠美
- ・藤田 昌雄
- ・下本 一公
- ・掲載可未確認2名



**オレンジリボンたすきリレー in下関2018**

今年も児童虐待防止啓発活動としてオレンジリボンたすきリレーin下関2018(10回目)を行います。日時、場所、内容等は後記のとおりです。皆様に応援していただくと嬉しく思います。

日時：11月18日(日)10:00~13:10  
 場所：カモンワーフ一帯  
 内容：たすきリレー、チラシ・風船配布、ステージイベント(太鼓・ダンス、オーケストラ演奏他)、ちびっこゲームコーナー(ヨーヨー、輪投げ等)



今年もなかへ学院はふれあい祭りに出店という形で参加させて頂きました。出店の内容は、カレーライス、コロッケ、おもちや、くじの販売を行いました。職員で協力して行うことが出来ました。



**第12回角倉小学校区ふれあい祭り**

今後このような活動をを通して、紙風船の認知度を上げ、地域に根ざした気軽に寄れる紙風船を目指して頑張りたいと思います。



紙風船では、夏休みに深坂自然の森で指導員をされている下田裕先生を講師として招き、地域のごもたちを集め、彦島公民館で工作教室を行いました。今年には彦島の各小学校より28名の子どもたちが参加してくれフォトフレーム作りにも挑戦しました。

まつぼっくりやどんぐり、木をくつつけたりを塗ったりとみんなそれぞれ工夫をしながらオリジナルのフォトフレームを作ることが出来ました。

ほとんどの子が夏休みの宿題の作品として持って行くようです。今年の工作教室の雰囲気としては、全体的に意欲的に取り組む姿が見られ、楽しみながらしている子が多く、約束もしっかり守る事が出来ました。



社会福祉法人 中部少年学院後援会  
**平成29年度 収支報告書**

(単位 円)

項目	決算額	予算額	差引	摘要	
収入の部	年会費	1,128,000	1,450,000	-322,000	団体 440,000円 個人 688,000円
	寄附金等	22,395	10,000	12,395	
	利息	32	500	-468	
	当期収入計	1,150,427	1,460,500	-310,073	
支出の部	事業費	273,406	471,000	-197,594	学院支援費 自動車免許取得費用 60,000円 高校生クラブ活動奨励費 20,000円 小学生スポーツ文化活動 20,000円 卒院祝金(3人) 30,000円 チャイルドライン年会費補助 9,500円 職員自主研修補助 100,000円
	行事費				さつき祭材料費 33,906円
	広報費	259,200	260,000	-800	広報誌(そよかぜ) 40号 700部 129,600円 41号 700部 129,600円
	総務費	269,338	180,000	89,338	通信費(広報誌送料等) 86,944円 振込用紙印刷 1,102円 ハガキ等 1,292円 助成金 紙風船 100,000円 ふれあいステーション 30,000円 オレンジリボン 30,000円 チャイルドライン 20,000円
	雑費	11,974	20,000	-8,026	麻流杯寄附 3,000円 会議お菓子 8,974円
	当期支出額	813,918	931,000	-117,082	
	当期収支差額	336,509	529,500	-192,991	
	前期繰越金	3,707,937	3,707,937	-	
	次期繰越収支差額	4,044,446	4,237,437	-192,991	

社会福祉法人 中部少年学院 後援会 様  
 平成29年度の収支について、上記のとおり報告いたします。  
 平成30年7月1日  
 社会福祉法人 中部少年学院 後援会  
 会計 濱村 美貴  
 監査の結果、上記のとおり整理されており正当と認めます。  
 平成30年7月1日  
 会計監査 小倉 國雄

**平成29年度 決算報告**

資金収支計算書  
 (自)平成29年4月1日 (至)平成30年3月31日

(単位 円)

勘定科目	合計	本部	児童養護	乳児院	紙風船	そよ風
經常活動による収支	収入					
	児童福祉事業収入	39,166,956			15,008,720	24,158,236
	措置費収入	536,696,561		251,086,967	285,609,594	
	補助金収入	575,407		528,407	47,000	
	事務費収入	5,861,131		379,401	5,481,730	
	事業費収入	4,502,829		724,839	3,777,990	
	寄附金収入	9,535,957	9,343,957	192,000		
	雑収入	9,009,145	3,044,838	2,906,793	2,986,862	70,652
	受取利息配当金収入	72,736	210	10,914	61,558	36
	その他の収入	41,252			41,252	
經常収入計	605,461,974	12,389,005	255,829,321	298,005,986	15,008,756	24,228,906
支出						
人件費支出	423,060,628	1,113,210	180,300,897	200,735,474	17,624,587	23,286,460
事務費支出	24,366,135	2,874,953	8,799,015	10,134,924	1,628,679	928,564
事業費支出	81,765,221		53,244,118	26,003,119		2,517,984
事業費支出流動資産評価等による資産減少額	719,451		6,510	712,941		
支払利息支出	36,946		36,946			
經常支出計	529,948,381	3,988,163	242,387,486	237,586,458	19,253,266	26,733,008
經常活動資金収支差額①	75,513,593	8,400,842	13,441,835	60,419,528	△ 4,244,510	△ 2,504,102
に施される整備支等	収入	施設整備等収入	425,000	290,000	135,000	
	支出	施設整備等支出	0			
	施設整備資金借入金元金償還支出	5,232,000		5,232,000		
その他の収支活動	収入	固定資産取得支出	49,837,660	162,200	49,675,460	
	支出	施設整備等資金収支差額②	△ 54,644,660	0	△ 5,104,200	△ 49,540,460
	収入	積立預金取崩収入	1,055,900		68,050	987,850
	支出	拠点区分繰入金収入	4,600,000			4,600,000
収入	その他の活動による収入	0				
支出	積立資産支出	5,741,405	2,456,350	2,733,805	239,700	311,550
収入	積立金支出	0				
支出	拠点区分繰入金支出	4,600,000			4,600,000	
その他の活動収支差額③	△ 4,685,505	0	△ 2,388,300	△ 6,345,955	4,360,300	△ 311,550
当期資金収支差額④=①+②+③	16,183,428	8,400,842	5,949,335	4,533,113	115,790	△ 2,815,652
前期末支払資金残高⑤	85,536,927	16,279,791	30,678,058	33,616,557	36,886	4,925,635
当期末支払資金残高⑥=④+⑤	101,720,355	24,680,633	36,627,393	38,149,670	152,676	2,109,983

**貸借対照表**

平成30年3月31日現在

(単位 円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	141,103,745	流動負債	39,383,390
固定資産	1,367,330,588	固定負債	468,686,830
基本財産	645,198,939	負債の部合計	508,070,220
その他の固定資産	722,131,649	純資産の部	
		基本金	29,491,817
		国庫補助金等特別積立金	402,629,297
		その他の積立金	294,000,000
		次期繰越活動収支差額	274,242,999
		純資産の部合計	1,000,364,113
資産の部合計	2,875,764,921	負債及び純資産の部合計	1,508,434,333

# 乳児院なかべ学院建築支援

# THE LEGEND

オペラユニット

ザ・レジェンド

## チャリティーコンサート



日本初の男性オペラ歌手5人組の『オペラユニットTHE LEGEND(ザ・レジェンド)』は、中部少年学院の創設理念に賛同し、音楽や芸術を通して子ども達に愛と夢を届けるため2010年より支援活動を行ってきました。この度、乳児院なかべ学院の新院舎建設支援のためチャリティーコンサートを開催することとなりました。『オペラユニットTHE LEGEND(ザ・レジェンド)』の重厚なハーモニーと、笑いや躍動感あふれるステージをどうぞお楽しみください。

2018

11/2 **金**

ドリームシップ(下関市生涯学習プラザ)海のホール

開場:18:00 開演:18:30

全席指定: S席¥6,000 A席¥5,000(幼児入場不可)

主催: 中部少年学院チャリティーコンサート実行委員会 LEGEND下関コンサート実行委員会

チケットご希望の方はなかべ学院までご連絡ください。

### 編集後記

**森林セラピィの乳児院**  
木の香漂う、家庭的な子育てを行うユニット方式の乳児院が、表紙の完成図の様な一戸建て、平成31年3月に完成予定です。

乳児院なかべ学院建設支援の「ザ・レジェンド」チャリティー・コンサートは「オレンジリボンたすきリレー」実行委員会との共催で開催されます。

後援会も建設資金の募金活動や、チケットの販売をコンサートの共催者として全力で支援を行い、「コンサート会場を満席にしたいものです。」

子どもたちが温かい雰囲気の家ですくすくと育つ施設が完成することを願っています。

(太刀山 逸男)



### 啓さんの知恵袋

理事長 石川 啓

大坂なおみ選手の優勝記者会見で有名になった「がまん。」今日では「堪え忍ぶ」という意味で用いられるが、本来は「思いあがって人を侮る」という意味の仏教語である。

### 後援会加入のお願い

後援会事務局

法人年会費 10万円  
個人年会費 10千円

何口加入されてもかまいません。

お問い合わせはなかべ学院まで

TEL 083-266-11934